そいつを捕まえろ
見つかれば、殺される――!!
どこへ行った!?
ザッ
まだ遠くへ行ってはいないはずだ
ザッ
探せ
生きて逃がすな
特別読切
黒い瞳の魔女
魔女を殺せ!!
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ

深い森に埋もれた
不気味な屋敷・・・
その中で待つ者とは――
……きた

黒い瞳の魔女
The witch of the black eyes
Sibataro Nakamura
仲村柴太郎
美麗な筆致で
世界を描く
期待の新鋭

ハァ
ハァ
ハァ
ハッ
ダメだ…
もう走れない
バタン
…ハァ
でも
よかった
なんとか
撒いたみたい

……廃墟か
とっさに駆け込んできちゃったけど助かったな

生きて逃がすな
…大丈夫
ぎゅ
夜が来るまでここに隠れてそれから遠くへ逃げれば…

危ない危ない物音を立てないようにしなきゃ…

ガシャン
!
ガタン

……猫？

ここに棲みついてる野良かな…？
…おいで
ジッ
……ケ

ココカラ出テイケ……

ねねね
猫がっ
猫が
しゃべった
あああああ
ダッ
ダッ
ダッ
ダダダダ
パチ
……ッ!?
ギイイイイイ
ギイ

…すごい

綺麗な部屋
ここだけはなんだか…
まだ人が住んでいるみたいな……
ぞわっ
さっきの猫といい気味の悪い屋敷……
ゴクッ
だ
誰かいるの……？

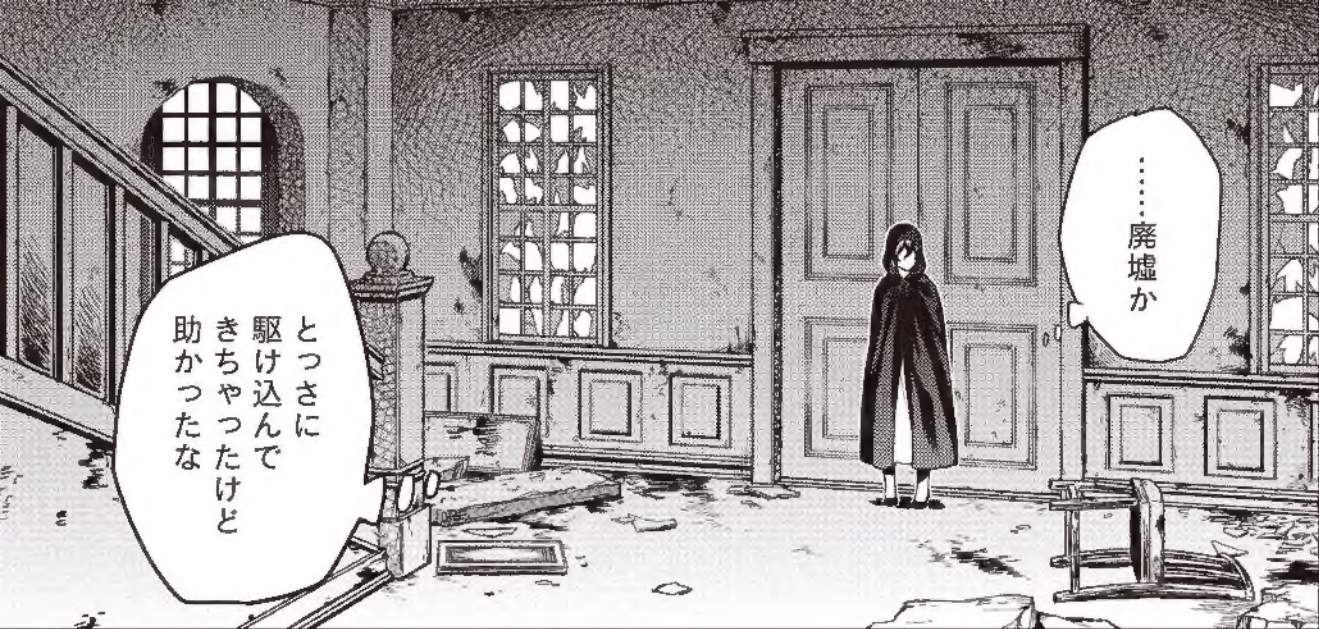
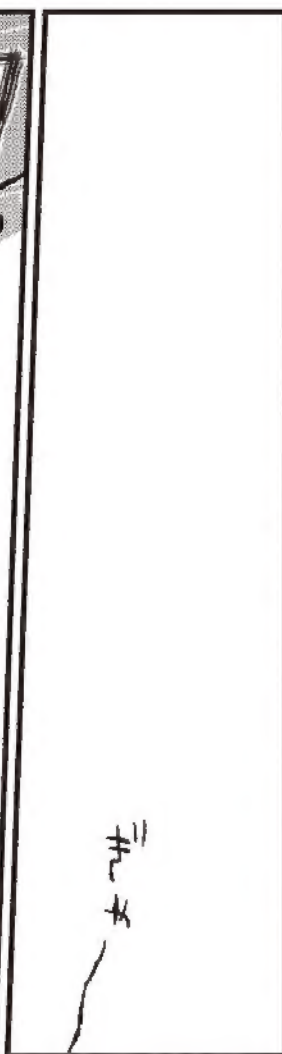
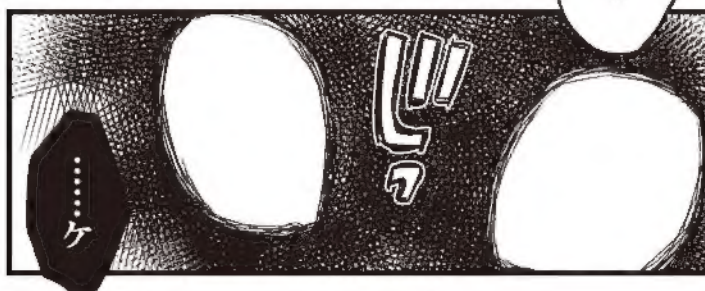
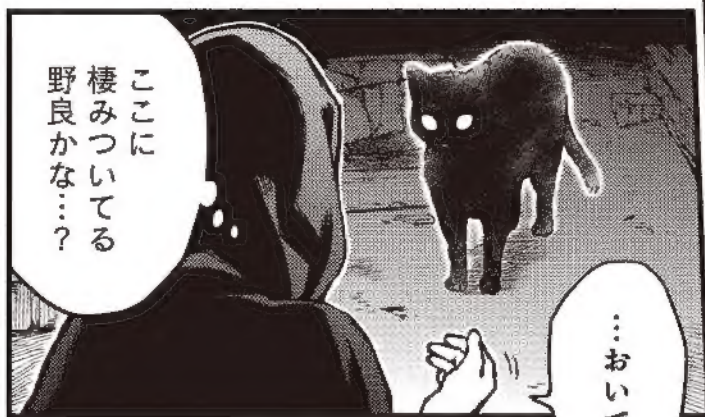
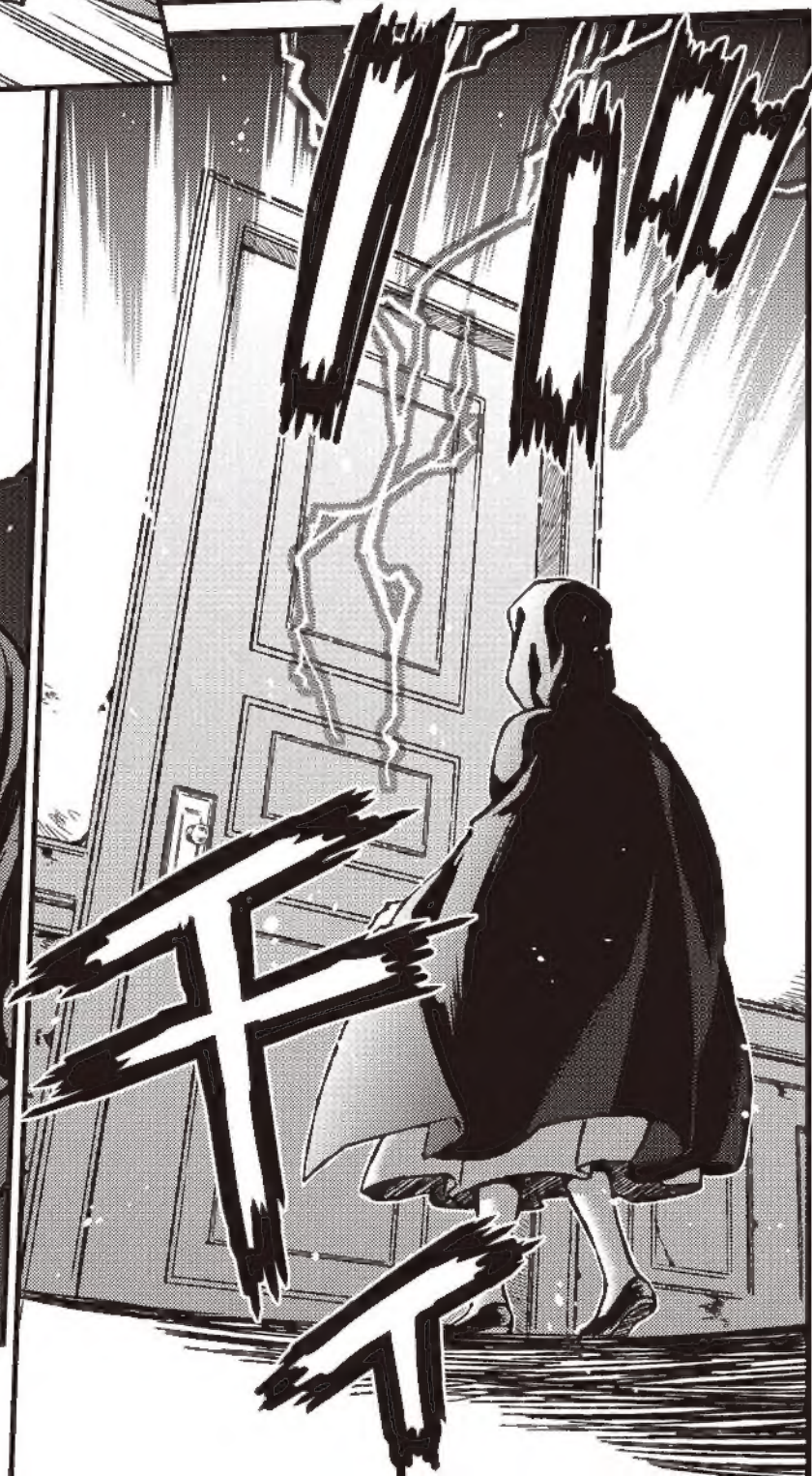
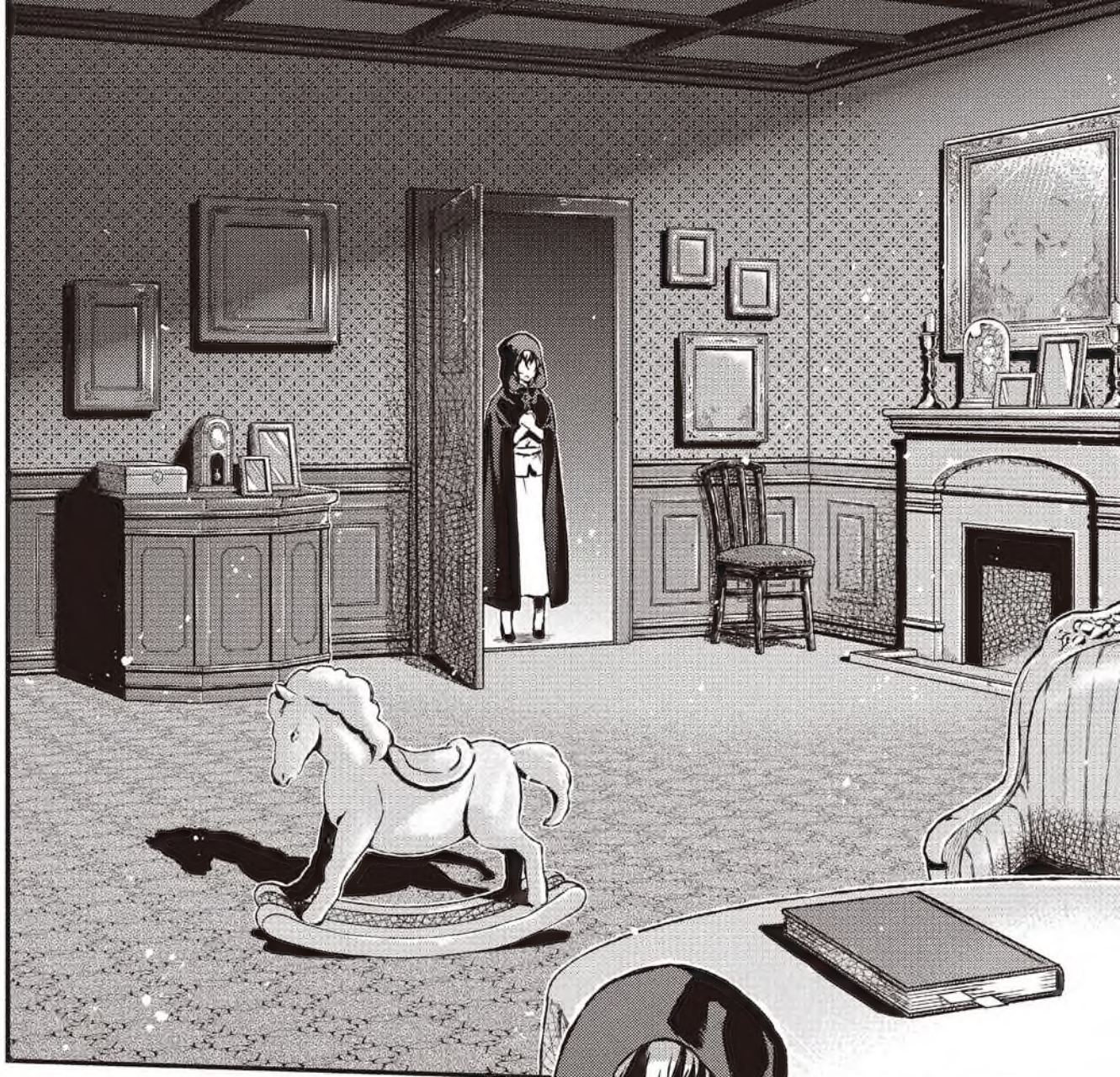
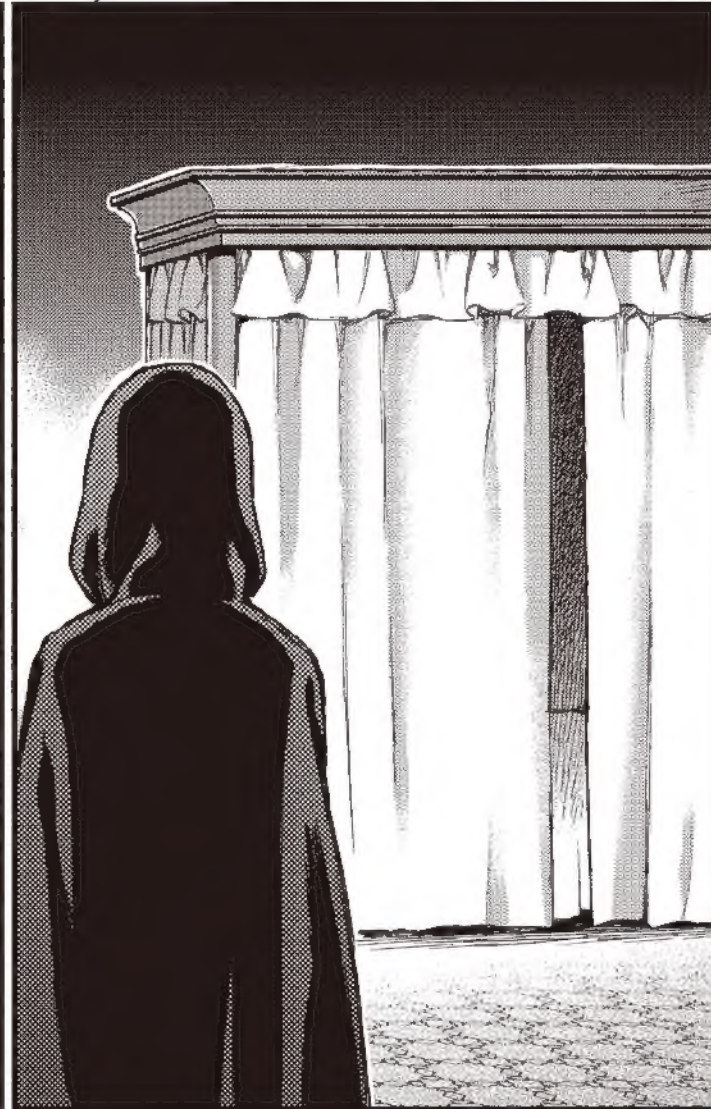
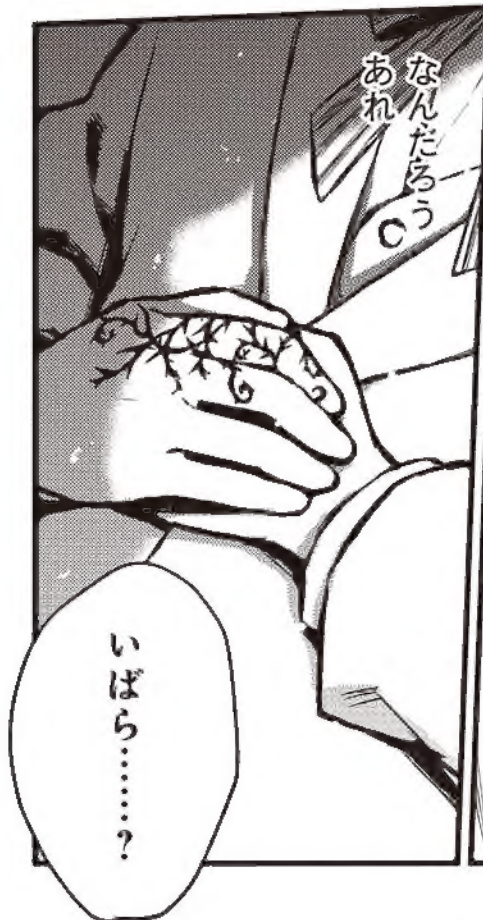
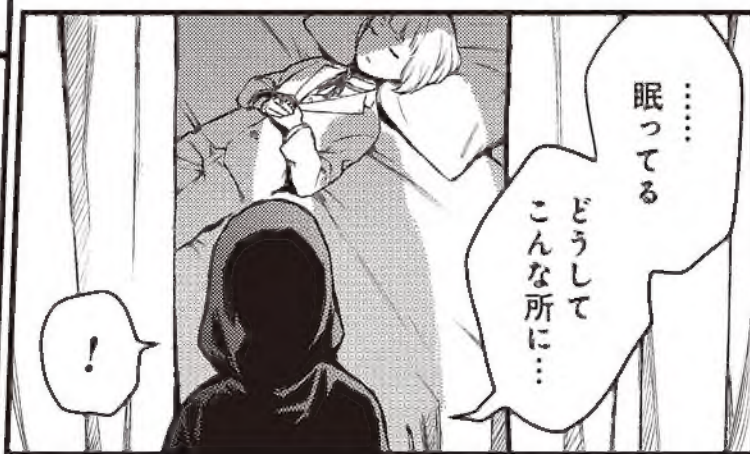
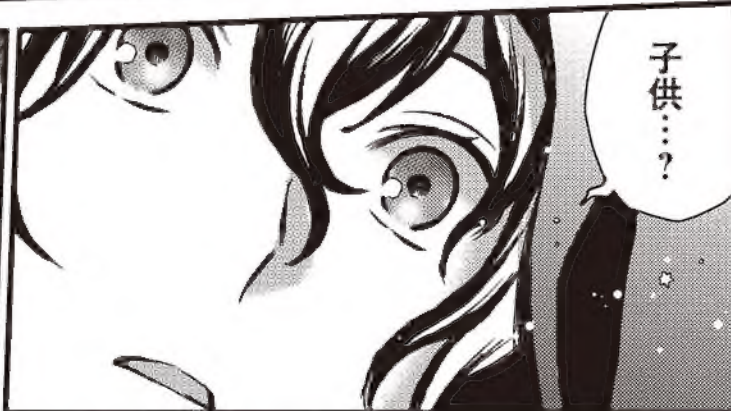
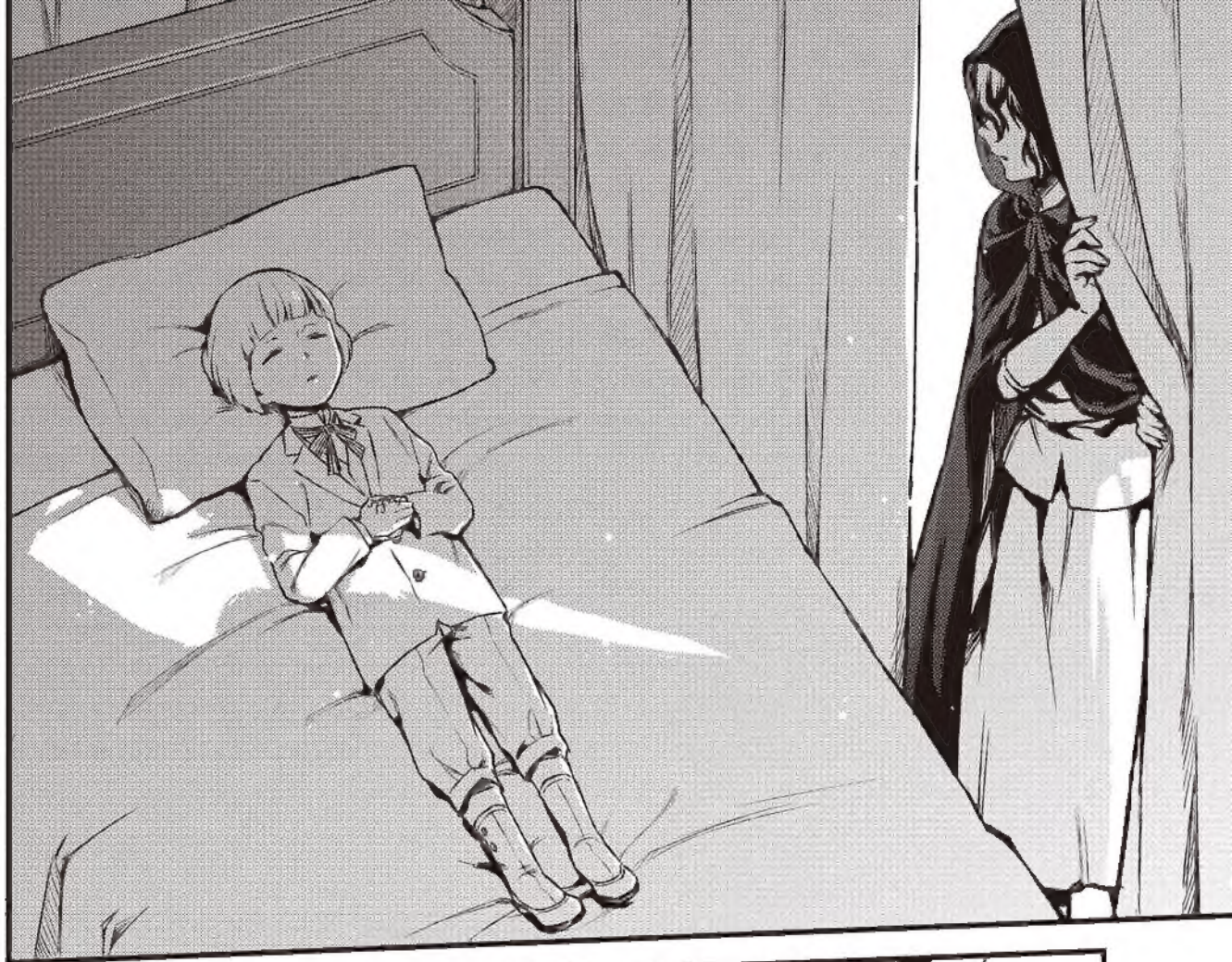
子供…？

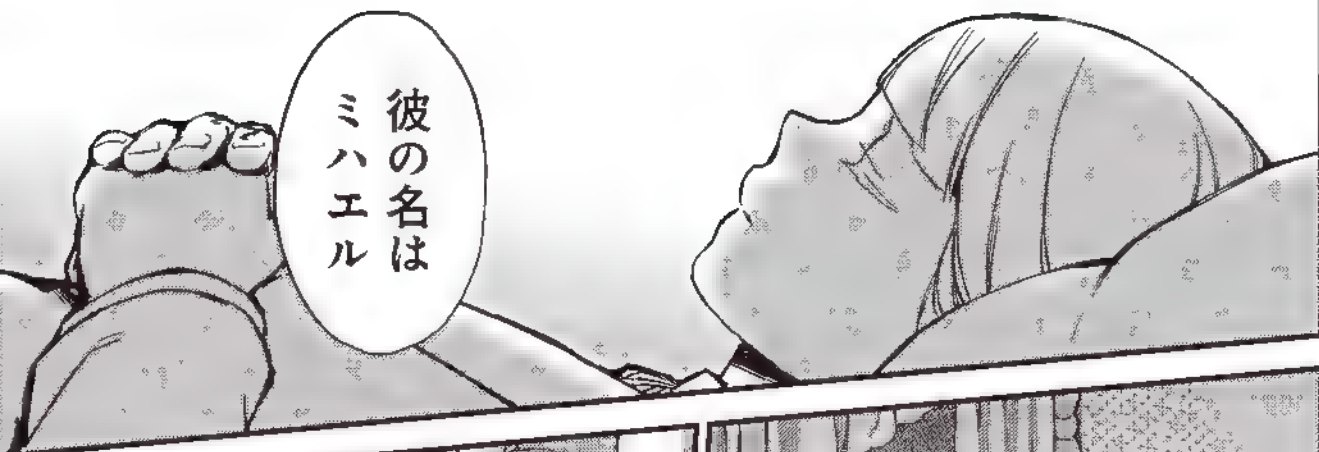
なんだろう
あれ

……
眠ってる

どうして
こんな所に…

！

いばら……？

呪いだよ
その子供の命を
奪うために
かけられた魔法
呪いの茨
ゆら
おまえ
僕が視えて
いるな？

ガタンッ
!?
体が動かない…!!
なにこれ…!?
怖がらなくていい
ビクッ
待ち人…?
ようやく訪れた待ち人に危害を加えるつもりはないさ
おまえに
頼みたいことがある

彼の名はミハエル
もう何年も前からずっとこうして眠り続けている
しかし
この部屋の結界で呪いの力を抑えているんだ
こうして眠らせていたって呪いは解けやしない
時が経つほど呪いの茨は全身を覆うまでに成長するだろう
その時彼は死ぬ
…そうなる前に見つけなければならないんだ

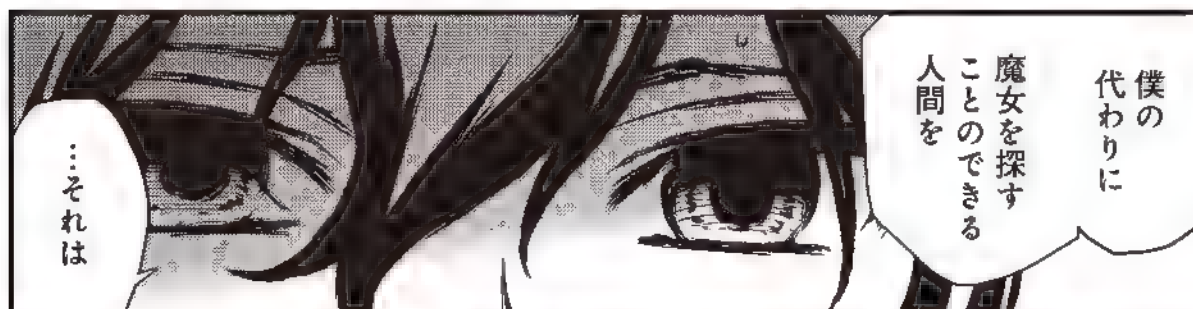
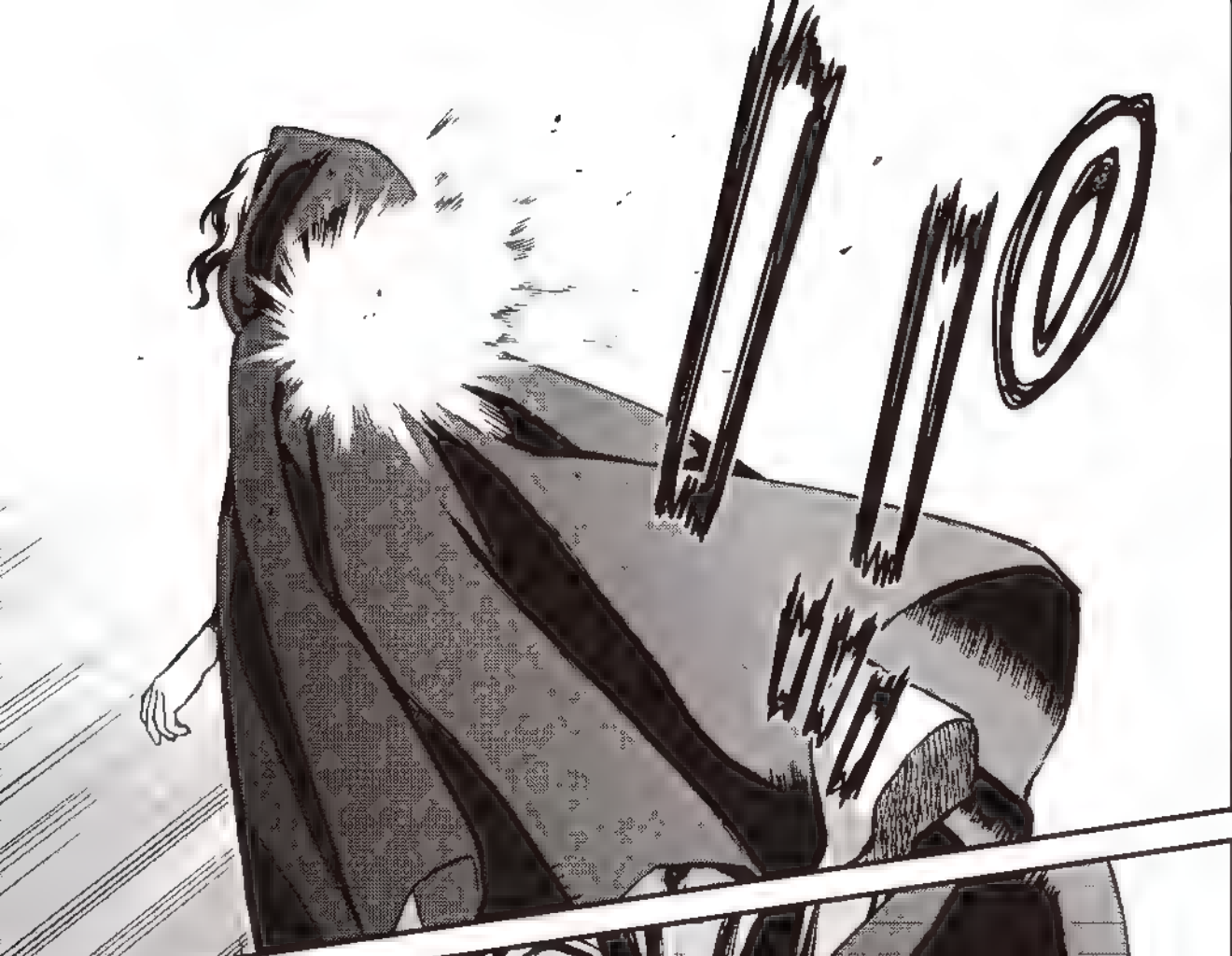
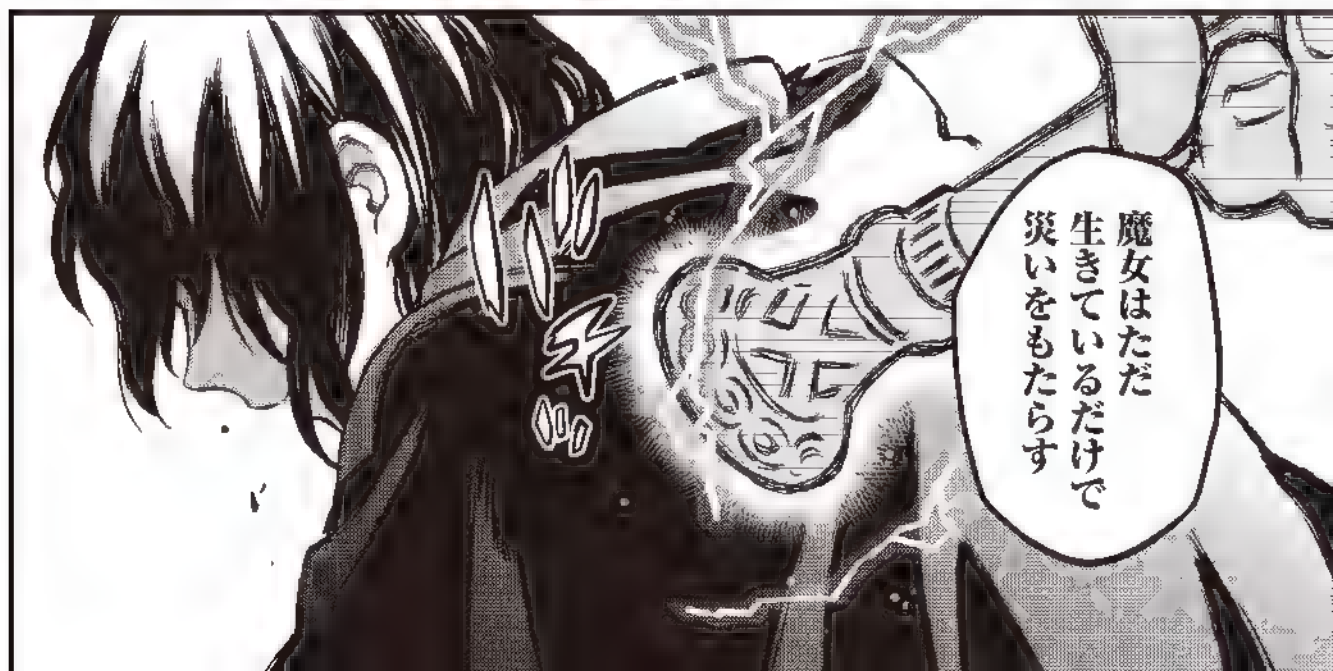
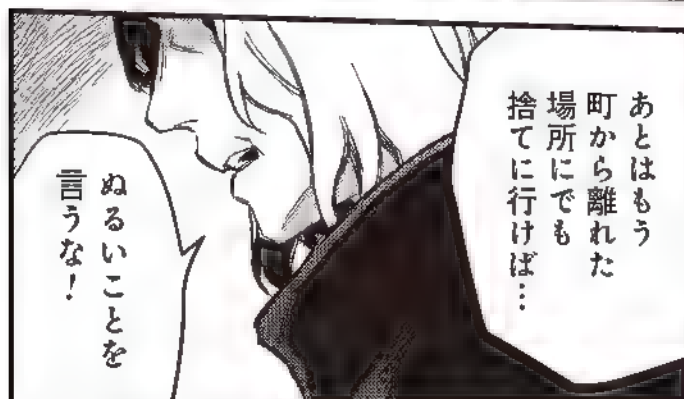
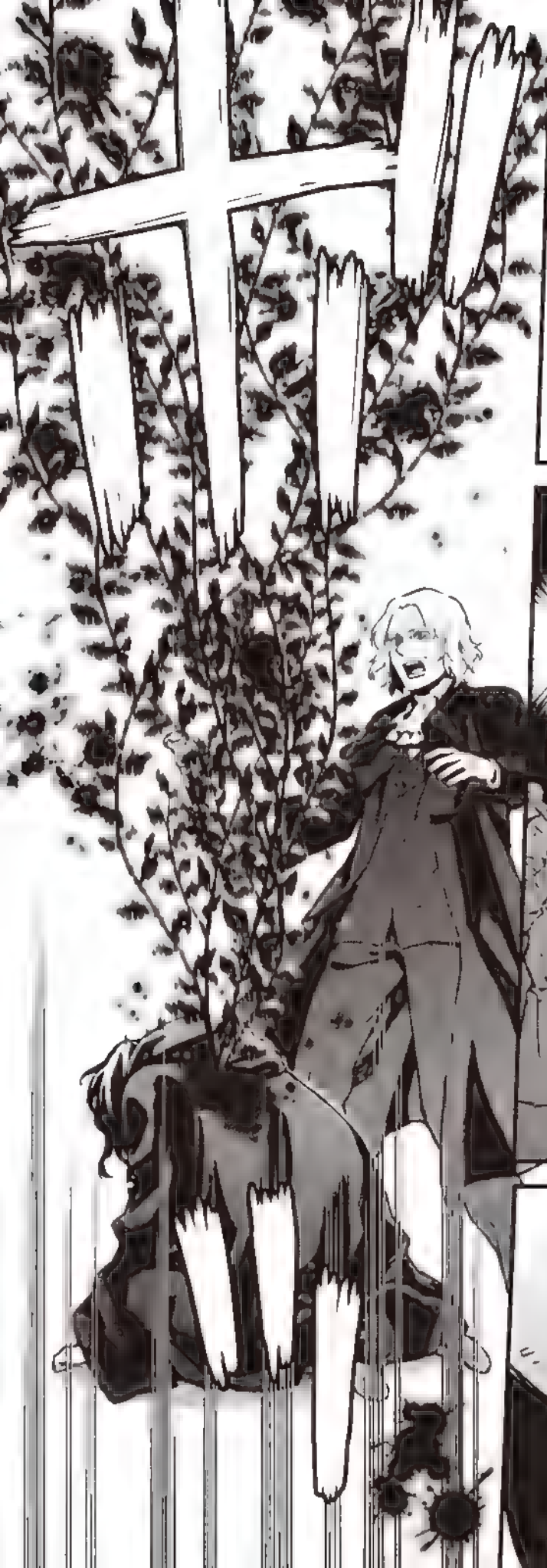
彼に呪いをかけた張本人
炭の魔女を

魔女…
見ての通り今の僕には実体がない
だからずっと待っていたんだ

僕の代わりに魔女を探すことのできる人間を
…それは

悪いけど他をあたって
なに？
かわいそうだと思うけど私にはなにもできない
だって私も……

ドッ
え……？
じわ…
当たった！
いいぞ
今だ!!

ようやく見つけたぞ
魔女め
観念しろ!!
おおい魔法使い
やりすぎじゃないか?
あとはもう町から離れた場所にでも捨てに行けば…
ぬるいことを言うな!
魔女はただ生きているだけで災いをもたらす

存在
そのものが
罪なのだ
おまえの
せいだ
作物の
不作も
疫病も
すべて
魔女が
悪いんだ
私が
なにを

パキ
パキ
パキン
人ならざる力を生まれ持ったばかりに
私には
魔女には居場所がない
傷が
塞がっていく…!?
ワァ
逃げろ呪われるぞ

杖も無しにこれほどの現象を……
…やはり
魔女を生かしてはおけない
ギリ
きゃああ
誰か…
なんだ…ッ

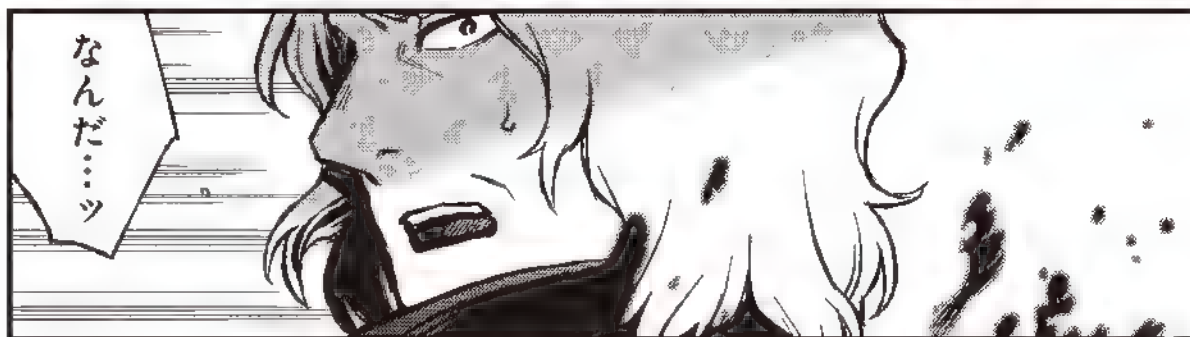
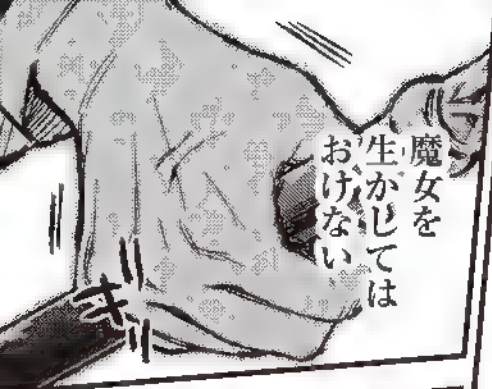
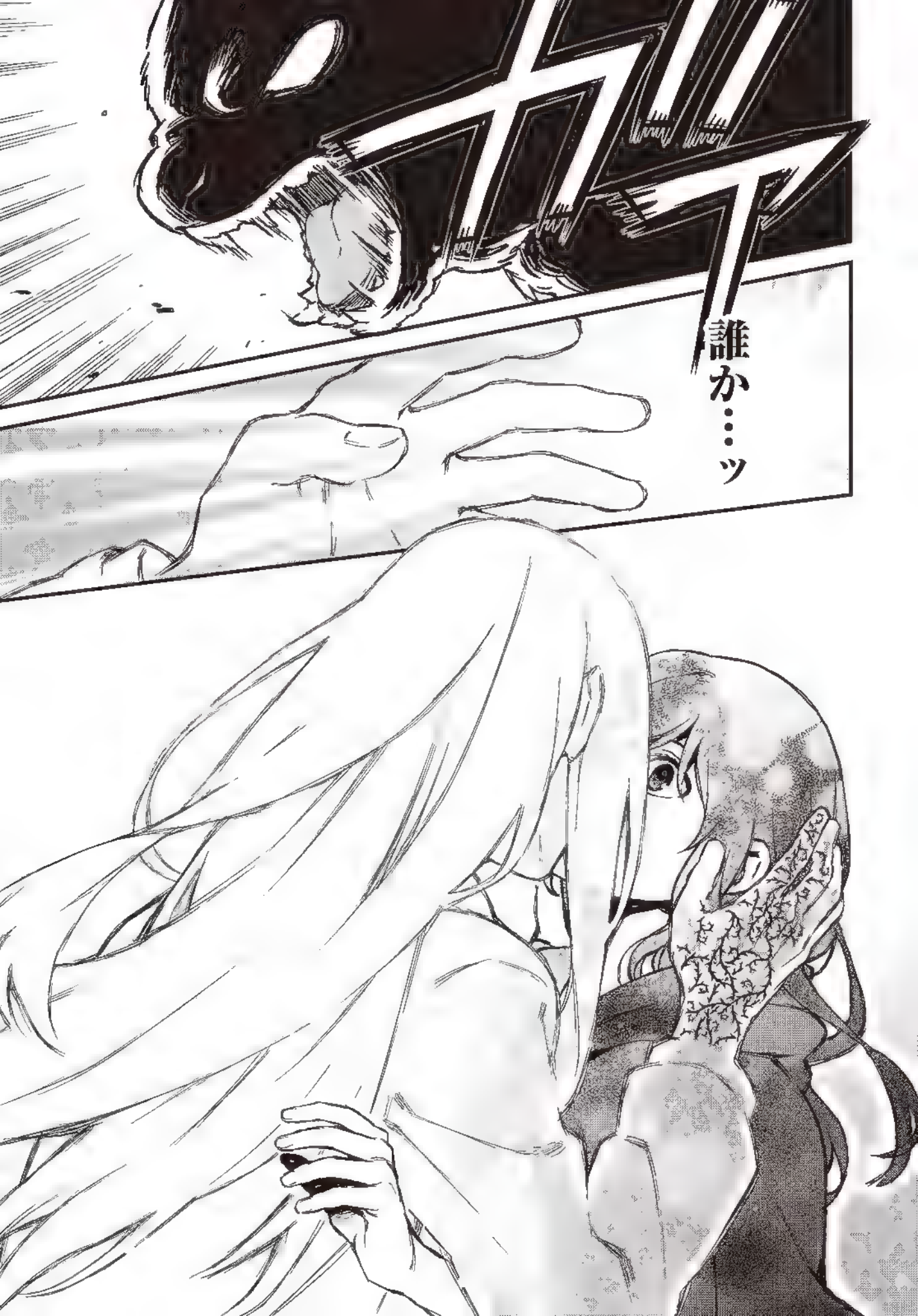
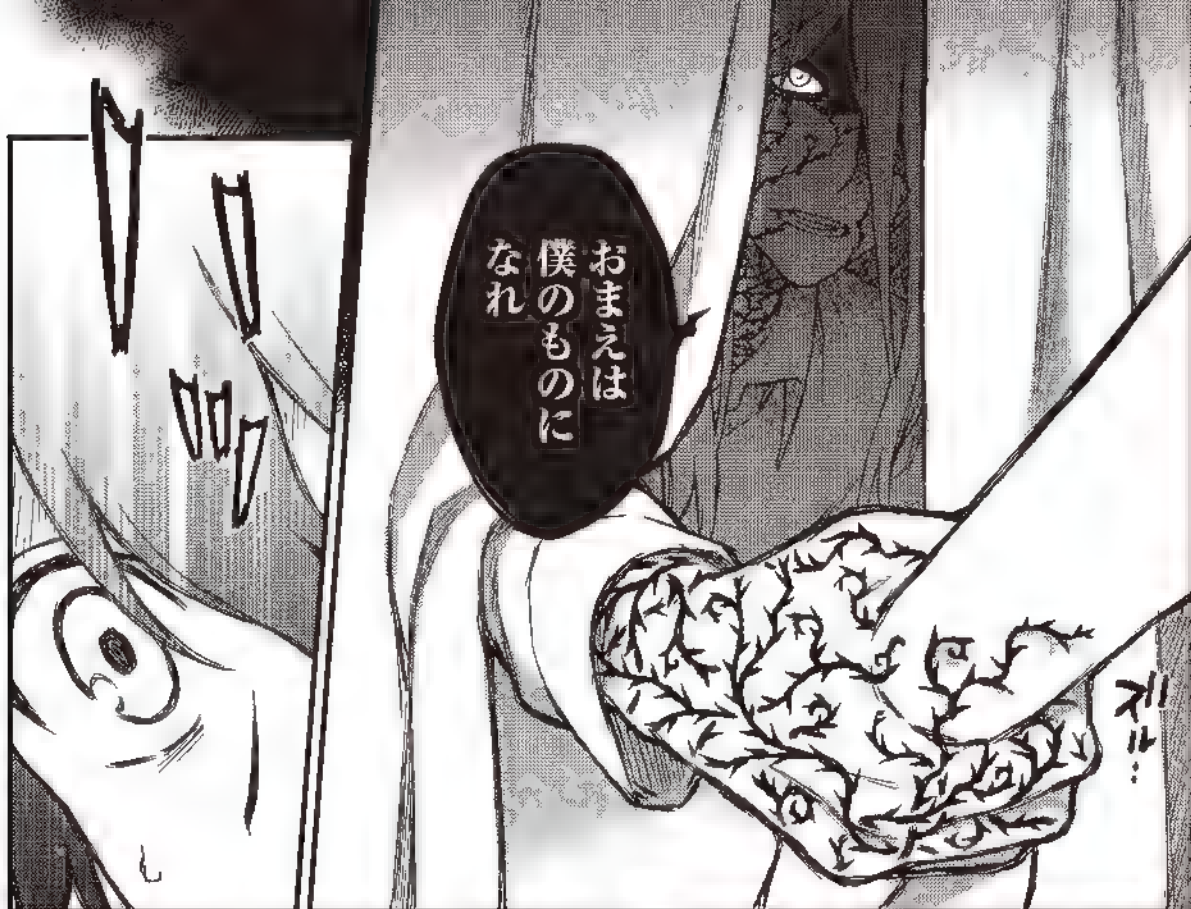
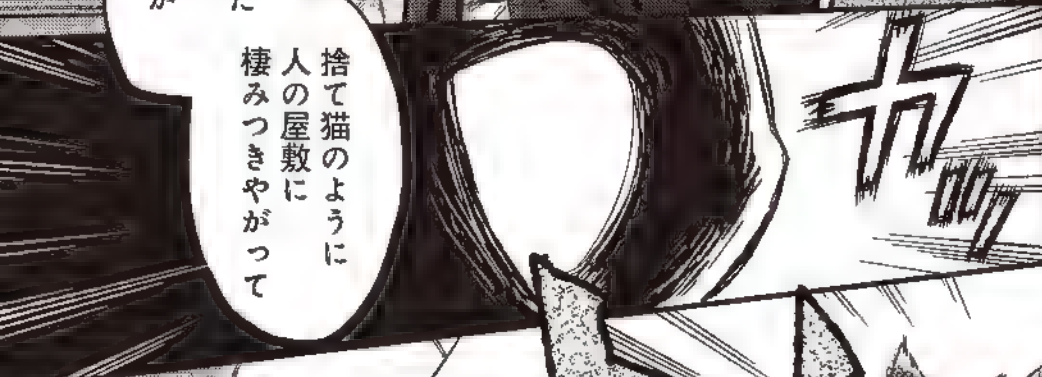
グルルル…
なにこれ
…イケ
出テイケ ヨソモノ!!
逃げなきゃ…
カタ
カタ
じわ…
は…
は…
——ああ
嫌だ
こんなとこで死にたくない
嫌だ
——誰か

誰か…ッ

取引しよう

おまえは僕のものになれ

ズル…

人に憑くのは初めてだが
悪くない
サーッ
どういうこと!?
ニタァ
心配するな
少しの間おまえの体を借りるだけさ
…何者タ

グルルル
嫌ナニオイダ
オレノ縄張リカラ出テイケ!
出て行くのはおまえのほうだバケモノめ
誰に仕えた使い魔か知らないが
捨て猫のように人の屋敷に棲みつきやがって
カッ
ど……どうするの!?
黙レ!!
カチャ
いい機会だ僕の力を証明しよう

驚いて腰を抜かすなよ

ま
ほう
つかい
へた

……

助かった…

当然だ

僕は約束を守る男だからな

あなた…!!

次はおまえの番だな ミザ

これから
おまえが救う
そこの子供の
未来の姿さ

よろしく
僕の魔女

［2016年一番手に入れて嬉しかったものは？］

「掲載の機会を頂いたこと!」
（仲村柴太郎）

ハァ
……寒い

もう嫌だ早く帰りたい……っ
ブル
ブル
ダメだミザ

まだ魔女の手がかりが見つかってない
でもミハエル

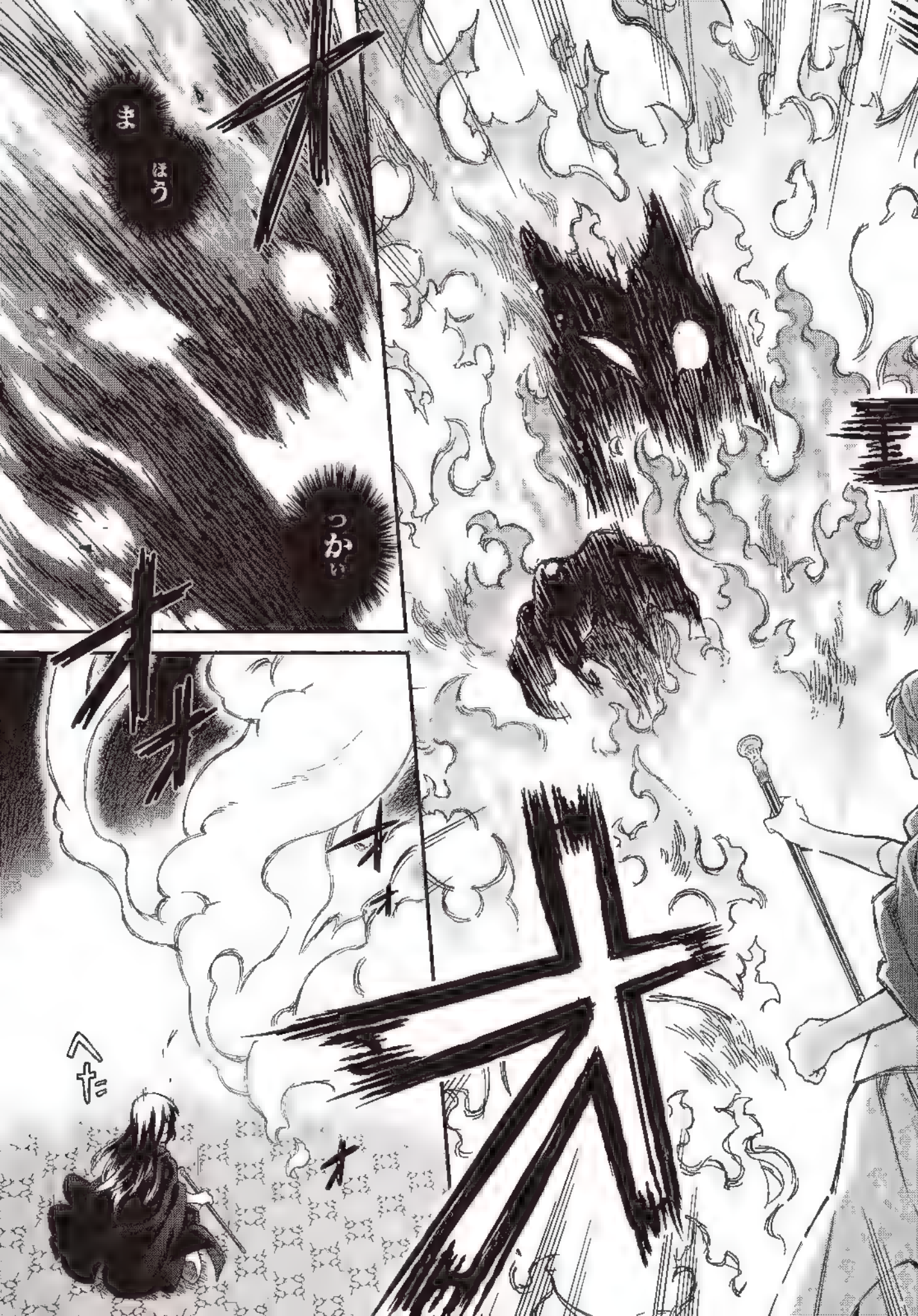
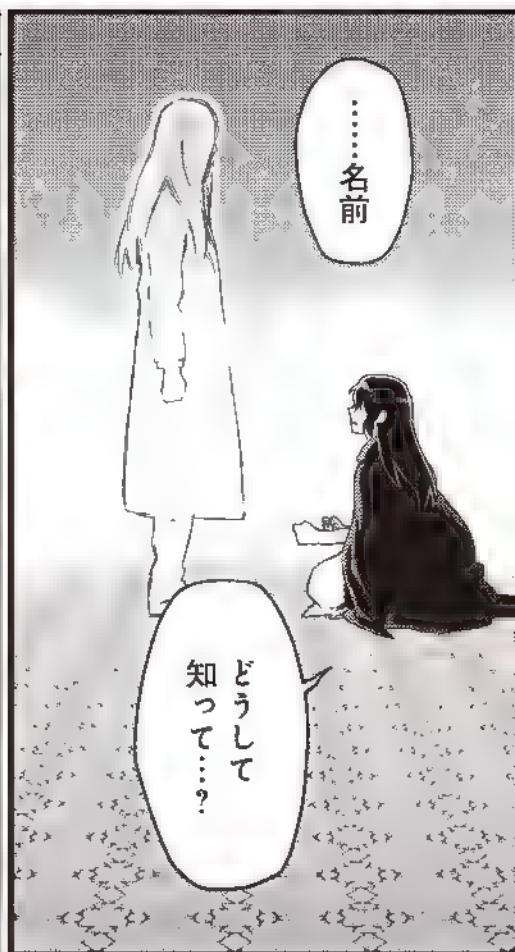
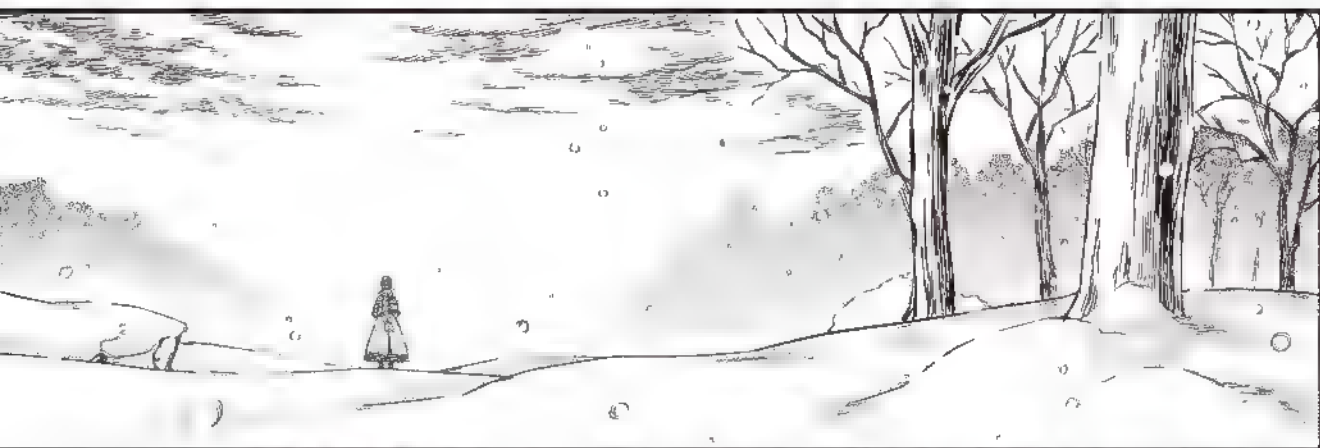
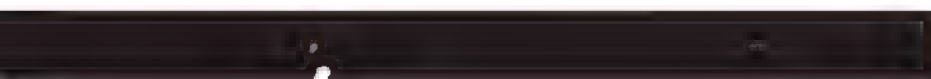
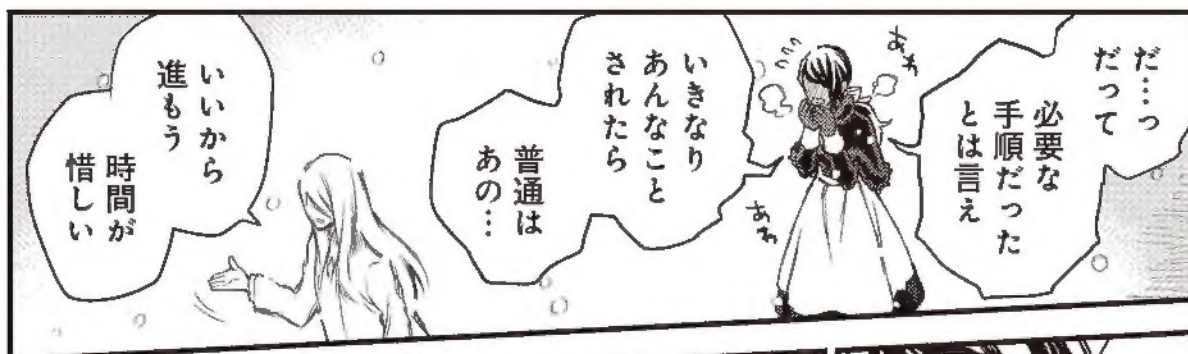
これだけ探して見つからないんだし
噂話を当てに魔女を探すなんて無理があるよ
なにかもっと他の方法を考えたほうがいいんじゃ…

だとしてもなにもせずにいる訳にはいかない
結界に守られているとは言え僕の体にはあまり時間がないんだ

……
わかってるけど……

……

まあ心配するな

希望はあるさ
僕とおまえのふたりなら

でもいまは

こんな世界でもあなたとなら…

この呪われた魔法使いの隣が

私の居場所だ

黒い瞳の魔女

仲村柴太郎先生の次回作にご期待ください

おわり

黒いあとがき

初めまして
こんにちは
仲村柴太郎と申します

黒い瞳の(略)が@パンチ本誌に載りそうです

(動悸)

『黒い瞳の魔女』をお読み頂き有難うございます

好きな要素全部盛りでお送りしました

中世ファンタジーとか幽霊とか魔法だとか

反省点も多く目も当てられない拙い出来なのでお恥ずかしい限り

めっっっっっちゃ修正したい…描きなおしってできないですかね
ちょっとだけでもって
正直言ってしまえばフルリメイクしたいです

ぐっ

改めて見ると

あそこはもっとこうしたほうがいい気がするしセリフもなんかわかりづらいし

一生懸命描いたんですけどね…？

まだまだ未熟な私ですが人に楽しんで頂ける漫画が描けるように頑張っていきたいと思います

兎にも角にも読んでくださった方お世話になった方に心からの感謝を